



展示室 A
湖の400万年と私たち
～変わり続ける琵琶湖～

現在の三重県伊賀市から、約400万年をかけて移動してきた琵琶湖の生い立ちに始まるA展示室。地層や化石の標本や琵琶湖の模型を通して、湖環境や気候、生き物の移り変わりを理解できます。

数ある展示物のなかでも目を引くのは、フロア奥に位置する高さ4メートルのツダンスキーゾウ。もともと、中国で出土したコウガゾウ（のちにツダンスキーゾウ）と同種であることが判明の全身骨格のレプリカであり、リニューアルをきっかけに、中井さん。

さらに進むと、魚類の化石（頭歯など）から固有種の進化をできるコーナー（現在、感染症対策のため休止中）もあります。

展示室 B
湖の2万年と私たち
～自然と暮らしの歴史～

B展示室の入り口では、轟音とともに巨大な龍のオブジェ（長さ7・5メートル）がお出迎え。龍は、古くから雨をもたらす水神としてあがめられ、滋賀県内でも各地に龍神信仰が残っています。ちなみに江戸時代、ゾウの歯や骨の化石は龍の骨と考えられていたそうなん…。

B展示室のスタートは、世界最大規模の淡水貝塚とされる粟津貝塚の発掘現場の再現から。続いて、縄文時代の森を再現した実物大ジオラマを通して、当

時の生活に思いを馳せます。時代はさらに下り、中世へ。巨大な帆をはためかせて湖面を走る丸子船、そして里山の暮らしを学びます。B展示室では「森」「水辺」「湖」「里」を舞台に、滋賀県の多様な自然のなかで生きた過去の人びとの足跡をたどることができます。

展示室の各所には、自然の側から見た目線で、ナビゲーターの龍の、歯に衣着せぬありがたいお言葉が。途中から微妙に叱られています。

Information

滋賀県立琵琶湖博物館
[電話]077-568-4811 [所在地]草津市下物町1091
[開館時間]10:00～16:30(最終入館16:00)
[休館日]月曜(休日の場合は開館)
[入館料]小・中学生 無料／高・大学生 450円／一般 800円
[2021企画展示情報]
第29回企画展示「湖国の食事(くいし)」を開催!
日程 7月17日(土)～11月21日(日)まで
[観覧料]小・中学生 150円／高・大学生 240円／一般 300円
入館にはウェブサイトからの事前予約(1ヵ月前から予約可)をお願いします。
開館情報について、ウェブサイトで確認してください。



詳細は
QRコードを
チェック!

その他の展示もリニューアル!

ディスカバリーーム
子どもと大人が一緒に楽しみながら五感を使って体感できる空間です。カウンターにはいろいろなディスカバーボックスをそろえています

おとのディスカバー
「ディスカバリーーム」の大人口。多くの標本や動画、参考書などで大人の探究心を満たします。日替わりで学芸員が対応する質問コーナーも

水族展示室
人気のトンネル水槽や、みんな大好きバイカルアザラシに出会える空間。運が良ければビワコオオナマズの遊泳を見られるかも

C展示室
多様な自然や、自然と人の関わりを、ジオラマや多数の標本を使って紹介。移築した古民家を使って、1964年の暮らしを再現したコーナーもある



滋賀県立琵琶湖博物館に行こう!

**研究結果の集大成が完成!
琵琶湖の昔と今を知ろう**

昨年10月、3期6年にわたるリニューアルを終えた琵琶湖博物館のグランドオープンは、コロナ禍における数少ない明るいニュースとして、私たちに希望を与えてくれました。リニューアルと同時にソーシャルディスタンスを保ちながら思い思いの時間を楽しんでいます。

第3期となる今回、リニューアルの対象となつたのはA展示室とB展示室。人がすみつく前の湖そのものの歴史、主に地学や古生物学を扱うのがA展示室。これに対してB展示室は、人が暮らし始めたから自然と人との関わり、そして歴史・民俗学的な内容を扱っています。これらに加えて、戦後から変わってきた今の環境や、環境との関わり方をC展示室で扱い、最後に現在の自然を生きたまま見られます。

それでは、時空を超えて、湖と生命のロマンを体感しましよう。

専門学芸員 中井克樹さん

せひ
お越し
ください!

こだわりギッシリ! リニューアルの裏話

しかし、こうした内容はあくまで展示をつくる側の「思い」であり、展示のなかで解説されることはありません。背景にいる私たちの「こだわり」に少しでも気づいてもらえば嬉しく思います。

今回のリニューアルで意識的に変えたこと、それは「時間軸」の考え方です。数百万年から数十年という私たちが想像できないほどの長い時間軸で移り変わることをA展示室に、次のB展示室では人の歴史を通じての数千年から数百年という時間尺度で変化する事柄を扱うなど、展示ごとに取り扱う事柄の背景にある時間スケールが違っているのです。リニューアルなどを研究しています。「私たち学芸員の本分は研究ですが、博物館を運営するうえでの裏方となるさまざまな仕事も担っています。専門分野をもつ約30人の学芸員が、専門分野をもつ約30人の学芸員が、研究・調査や資料収集を重ねた集大成、それがリニューアルに反映されているのです」と中井さんは話します。

ます。

用のバックヤード。琵琶湖の生き字引ともいえる学芸員の皆さんがデスクに向かう中、迎えてくださったのは専門学芸員の中井克樹さん。特定外来生物オオバナミズキンバイの調査に関わるニユースなどで、メディアに度々登場している。

専門分野は、環境保全復元学。聞き慣れない言葉ですが、外